

MVP・完全優勝を報告！

男子U19日本代表宮路充選手

12月13日(月)～16日(木)、インド・ムンバイで開催された『第4回アジア男子ジュニア選手権大会』(兼第9回世界男子ジュニア選手権大会アジア地区予選)に出場した男子U19日本代表宮路充選手(本町永吉)が、同24日(金)結果報告に役場を訪れました。

宮路選手は、全国から選抜された158名の選手の内から最後の日本代表17名に選出されました。

チームは、圧倒的な強さで予選リーグ・最終順位決定戦を無敗のまま駆け抜け、『完全優勝』を果たしました。

宮路選手は、3本のホームランを放ち、チームを勝利へ導いたことから、MVP(最優秀賞)を獲得しました。

今春、富山県のYKK株式会社に就職が内定しており「今大会は、とてもいい経験になった。次は社会人で活躍し、日本代表に選ばれるような選手になりたい」と話してくれました。



▲東町長と握手を交わす宮路充選手(鹿屋農業高校3年)

家族経営協定調印式

魅力ある農業経営を目指して！

11月29日(火)、平成22年度家族経営協定調印式が行われました。

家族経営協定とは、家族農業経営にたずさわる各世帯員が、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて取り決めるものです。

今回、協定を締結した家族は、5組(茶専門型3組、養豚1貫型1組、露地野菜+生産牛複合型1組)で合計17組となりました。

調印後、締結者代表の中原正則さん(茶専門型)が、『家族での農業経営の楽しさや話し合いの大事さが、他の農業経営者の方々にも伝わり、家族経営協定締結家族が増え、町の基幹産業がますます発展することを願っています。』と挨拶を行ないました。



▲調印式では、関係者立会いの下、協定書に記載された取り決め事項を確認後、署名調印を行いました。

みんなであつなごう九州の環

九州自動車道早期完成をPR

東九州自動車道建設促進協議会(会長:広瀬勝貞大分県知事)と東九州軸推進機構主催による『東九州自動車道建設促進地方大会』が11月19日(金)、鹿屋市の文化会館で行われ、各都道府県知事をはじめ沿線自治体、地域の方々が出席しました。

各都道府県知事がそれぞれ来賓挨拶を行い『地域間交流の推進に大きく貢献する最重要路線』と必要性をPRしました。

九州の一体的発展には不可欠として、東九州道の一日も早い全線開通実現に向け、関係機関等に積極的にアピールしていくことを確認しました。



▲「早期完成に向けて頑張ろう！」と頑張ろう三唱を行ないました。